

NY マーケットレポート (2015年5月28日)

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数が、2 週連続のプラスとなり、市場予想も上回る結果となったことを受けて、ドルはやや軟調な動きも見られた。しかし、米国の年内利上げ観測が根強く、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなり、ドル/円は 124.46 まで上昇し、2002年12月以来の高値を付ける動きとなった。その後は、麻生財務相が、この数日間は荒い動きとしたうえで、市場の動きを注意深く監視していきたいと、円安の動きに言及したことから、円を買い戻す動きも見られた。また、欧米の株価下落を背景に、豪ドルなどの一部クロス円も軟調な動きとなった。ただ、終盤には再び円が売られる動きとなり、ドル/円は再び 124 円台まで値を戻す動きとなった。

2015/5/28 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	123.64	124.25	123.50
EUR/JPY	135.28	135.49	134.75
GBP/JPY	190.02	190.72	189.72
AUD/JPY	95.03	96.00	94.91
EUR/USD	1.0942	1.0948	1.0890

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	124.40	123.63
EUR/JPY	135.85	135.20
GBP/JPY	190.55	189.56
AUD/JPY	95.14	94.87
EUR/USD	1.0951	1.0880

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20551.46	+78.88
ハンセン指数	27454.31	-626.90
上海総合	4620.27	-321.45
韓国総合指数	2110.89	+3.39
豪ASX200	5713.09	-12.17
インドSENSEX指数	27506.71	-57.95
シンガポールST指数	3417.77	-7.17

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7040.92	+7.59
仏CAC40	5137.83	-44.70
独DAX	11677.57	-93.56
ST欧州600	406.83	-2.05
西IBX35指数	11382.80	-48.30
伊FTSE MIB指数	23744.13	-116.94
南ア 全株指数	52810.36	-122.98

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	123.99	124.46	123.63
EUR/JPY	135.73	135.78	135.15
GBP/JPY	189.81	190.14	189.29
AUD/JPY	94.84	95.02	94.58
NZD/JPY	89.01	89.07	88.64
EUR/USD	1.0948	1.0959	1.0868
AUD/USD	0.7649	0.7657	0.7617

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18126.12	-36.87
S&P500	2120.79	-2.69
NASDAQ	5097.98	-8.62
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	15107.00	-3.47
🇧🇷 ボルサ指数	44807.31	+124.72
🇨🇦 ボベスパ指数	53976.28	-259.97

5/29 経済指標スケジュール	
08:30	【日】5月消費者物価指数
08:30	【日】4月失業率・4月有効求人倍率
08:50	【日】4月鉱工業生産
10:00	【NZ】5月ANZ企業景況感
10:00	【豪】4月HIA新築住宅販売
13:00	【日】4月自動車生産
14:00	【日】4月住宅着工戸数
14:45	【スイス】1Q GDP
15:00	【独】4月小売売上高指数
15:00	【南ア】4月マネーサプライM3
15:45	【仏】4月生産者物価指数・4月消費者支出
16:00	【トルコ】4月貿易収支
16:30	【スウェーデン】1Q GDP
17:00	【ポーランド】1Q GDP
17:00	【ノルウェー】5月失業率・4月小売売上高
21:00	【南ア】4月財政収支・4月貿易収支
21:30	【米】1Q GDP・1Q個人消費
21:30	【カナダ】1Q GDP
22:00	【米】5月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45	【米】5月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米】5月ミンガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1188.10	-2.50
NY 原油	57.64	+0.17
CME コーン	353.50	+4.00
CBOT 大豆	926.00	-1.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.62%	0.65%
3年債	0.95%	0.98%
5年債	1.51%	1.53%
7年債	1.88%	1.89%
10年債	2.13%	2.13%
30年債	2.89%	2.87%

5/29 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 124.29 ユーロ/円 135.27 ユーロ/ドル 1.0886

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	7033.00	-0.33	ダウ 先物ミニ	18088	-53
仏 CAC40	5152.43	-30.10	S&P 500 ミニ	2115.75	-5.25
独 DAX	11721.40	-49.73	NASDAQ 100 ミニ	4534.50	-7.75

(出所: SBILM)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 28.2 万件 (予想 27.0 万件・前回 27.5 万件)
 前回発表の 27.4 万件から 27.5 万件に修正

米失業保険継続受給者数 222.2 万人 (予想 220.0 万人・前回 221.1 万人)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》
給者比率

申請件数・・・前週比・・・4週移動平均・・・受給者数・・・受

15/05/23	282,000	+7,000	271,500	2,222,000	1.7%
15/05/16	275,000	+11,000	266,500	2,222,000	1.7%
15/05/09	264,000	-1,000	271,750	2,211,000	1.6%
15/05/02	265,000	+3,000	279,500	2,223,000	1.7%
15/04/25	262,000	-34,000	283,750	2,229,000	1.7%
15/04/18	296,000	+1,000	285,000	2,256,000	1.7%
15/04/11	295,000	+13,000	283,000	2,327,000	1.7%
15/04/04	282,000	+15,000	282,500	2,275,000	1.7%
15/03/28	267,000	-21,000	285,250	2,308,000	1.7%
15/03/21	288,000	-5,000	300,250	2,327,000	1.7%
15/03/14	293,000	0	305,250	2,413,000	1.8%
15/03/07	293,000	-34,000	302,500	2,399,000	1.8%

受給者数は集計が1週間遅れる

21:30

《 経済指標の結果 》

1Qカナダ経常収支 -175億CAD (予想 -186億CAD・前回 -131億CAD)
前回発表の-139億CADから-131億CADに修正

4月カナダ鉱工業製品価格(前月比) -0.9%(予想 -0.1%・前回 0.2%)
前回発表の0.3%から0.2%に修正

4月カナダ原料価格指数(前月比) 3.8%(予想 1.6%・前回 -1.5%)
前回発表の2-0.9%から-1.5%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月メキシコ失業率 4.31% (予想 4.10%・前回 3.86%)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	18106.27	-56.72
ナスダック	5100.02	-6.57

(出所：SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月米中古住宅販売成約 (前月比) 3.4% (予想 0.9%・前回 1.2%)

前回発表の 1.1% から 1.2% に修正

4月米中古住宅販売成約 (前年比) 13.4% (予想 10.9%・前回 13.5%)

前回発表の 13.4% から 13.5% に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《中古住宅販売成約》 4月・3月・2月・1月・12月・11月

全米・3.4・1.2・3.6・1.2・-1.5・0.4

北東部・10.1・-1.5・-2.6・-1.4・-3.6・0.5

中西部・5.0・-2.4・11.5・-1.1・-0.8・0.2

南部・2.3・4.0・-0.2・3.2・-1.0・0.7

西部・0.1・1.7・6.5・1.6・-1.9・-0.1

(前月比%) 4月・3月・2月・1月・12月・11月

全米・13.4・13.5・12.5・6.1・7.7・1.7

北東部・7.0・4.5・3.7・3.3・8.4・2.5

中西部・11.6・15.8・13.5・1.8・3.6・-3.4

南部・14.6・13.7・12.0・9.3・9.2・3.7

西部・18.3・17.0・17.8・6.4・9.1・3.1

(前年比%)

23 : 10
関係者

- ・「IMF は、ギリシャ債務の減免が必要になる可能性を認識」
- ・「ギリシャ、債務交渉で債権者と大きな開き」

23 : 30
◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より悪化したことで、米景気の先行きに対する懸念を背景とした売りが先行した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 86 ドル安まで下げる動きとなった。

0 : 00
◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・280 万バレル減少
ガソリン在庫・・・331 万バレル減少
留出油在庫・・・112 万バレル増加

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+0.7 万件の 25.2 万件となり、市場予想の 27.0 万件を上回り、2 週連続のプラスとなった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.5 万件の 27 万 1500 件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.1 万人の 222.2 万人となり、5 週ぶりのプラスとなった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-8500 人の 222 万 1250 人となり、2000 年 11 月 25 日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週比+0.1 ポイント上昇の 1.7%となった。

(2) 4 月の米中古住宅販売成約指数は、前月比+3.4%の 112.4 (2001 年=100) と 4 ヶ月連続のプラスとなり、2012 年 9 月以来 2 年 7 ヶ月ぶりの大きな上昇率となった。また、指数は 2006 年 5 月以来の高水準となった。前年比では +13.4%となった。前月比 (+0.9%)、前年比 (+10.9%) とともに市場予想を上回る結果となった。

①地域別では、前月比で南部が+10.1%、中西部が+5.0%、南部が+2.3%、西部が+0.1%となった。

②仮契約は、通常 1-2 ヶ月以内に本契約に移行するため、NAR の販売成約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

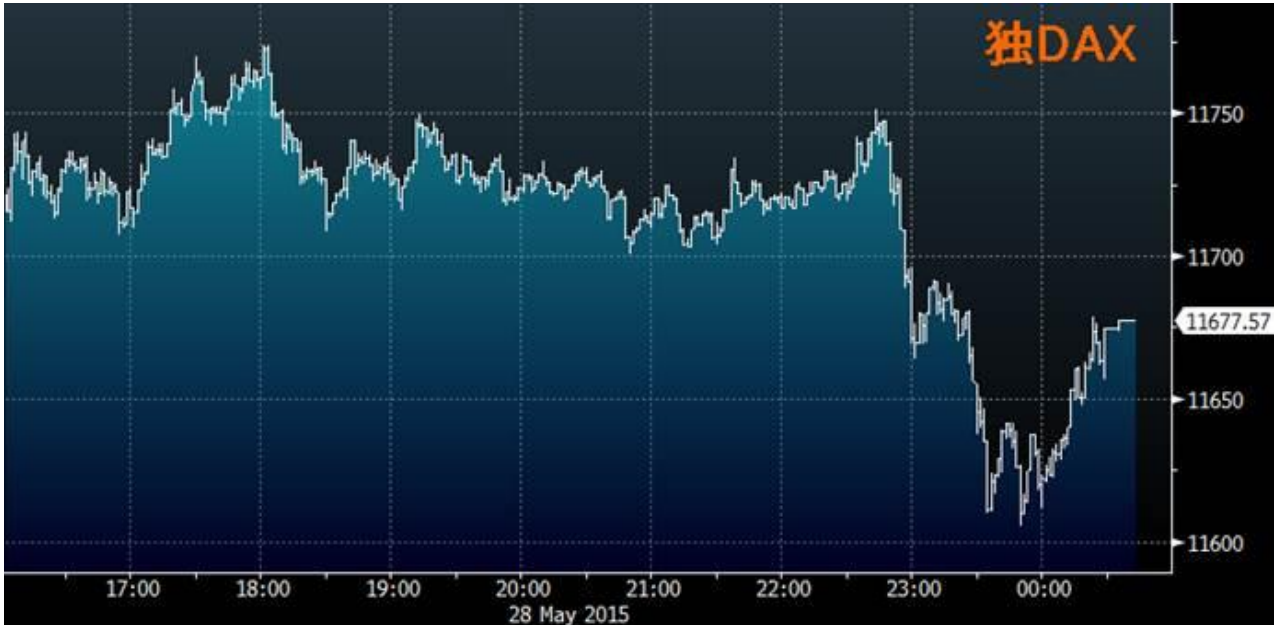
(3) NAR (全米不動産業者協会) が発表した 6 月の中古住宅販売見通しによると、2015 年の販売戸数は前年比+6.1% の 524.2 万件となった。2016 年は+4.7%の 549 万件を見込んでいる。中古住宅の中間販売価格については、2015 年が前年比+6.7%の 22 万 2300 ドル、2016 年は+3.6%の 23 万 400 ドルとしている。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	7040.92	+7.59
仏 CAC40	5137.83	-44.70
独 DAX	11677.57	-93.56
ストック欧州 600 指数	406.83	-2.05
ユーロファースト 300 指数	1615.27	-7.69
スペイン IBEX35 指数	11382.80	-48.30
イタリア FTSE MIB 指数	23744.13	-116.94
南ア アフリカ全株指数	52810.36	-122.98

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX は、ギリシャ金融支援をめぐる協議の先行き不透明感を背景に、軟調な展開が続いた。一方、英 FT100 は、英国企業の業績改善期待が支援材料となり、小幅高で引けた。



(出所：ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 18077.67 (-85.32)、S&P500 2117.79 (-5.69) ナスダック 5087.98 (-18.61)

1 : 00

IMF 専務理事、ギリシャのユーロ離脱の可能性を排除せず。



(出所：ネットダニア)

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、長期債が前日までの上昇の反動で一旦利益を確定する売りに押された。一方、米週間失業保険申請件数が市場予想に反して増加し、年内の米利上げに対する警戒感が後退したことから買いも入り、短期債は堅調に推移した。

午前の利回りは、30年債が2.89%（前日2.89%）、10年債が2.14%（2.13%）、7年債が1.90%（1.89%）、5年債が1.53%（1.53%）、3年債が0.97%（0.99%）、2年債が0.64%（0.65%）。

◀ 欧州のポイント ▶

①英政府はまもなくEU離脱に関する国民投票を2017年末までに実施するための法案を提出する見通し。キャメロン氏は英国とEUの関係を見直すと約束しており、国民投票を実施する前に、EUから一部の権限を取り戻すための交渉を進めたいとしている。2日間の予定で欧州訪問中のキャメロン首相は、EU改革の必要性への支持を取り付けた考え。28日はオランダのルッテ首相とフランスのオランド大統領、29日はポーランドのコパチ首相とドイツのメルケル首相との会談を予定している。

英政府は、2年以内に実施する方針であるEU離脱の是非を問う国民投票について、EUへの残留を望む場合は「イエス」と答える形になると発表した。英国国民が投票用紙で尋ねられるのは「英国は欧州連合の一員にとどまらなければならないか」という質問になるという。質問の仕方は非常に重要とみられている。

②スペインの第1・四半期のGDP確報値は、前期比+0.9%となり、速報値と同じとなった。昨年第4・四半期の+0.7%から加速した。年率換算のGDP成長率は2.7%となり、速報値の2.6%からわずかに上方修正された。消費支出の回復に支えられ、第1・四半期の経済成長率は四半期ベースで約7年ぶりの高水準を記録した。スペインは今年、欧州の中で最も成長率が高い国の一つとなった。域内の多くの国々と同様に、原油安やユーロ圏の景気刺激策、輸出を後押しするユーロ安が追い風となった。

③コンスタンシオ ECB 副総裁は、金融市場の相場急落がユーロ圏経済の安定化にとって最大のリスクだとの見方を示した。副総裁は、公表された金融安定報告書の中で、銀行や保険会社への低金利による影響や、銀行システムのうち規制が整備されていない部分などが主な懸念材料だと指摘した。

④英国の第1・四半期GDP改定値は、前期比+0.3%、前年同期比+2.4%となり、いずれも市場予想を下回る結果となった。原油などの輸入が増えたほか、サービス部門が予想より弱かった。前期比の成長率は速報値から変わらず。3月の鉱工業生産と建設部門生産が予想を上回っていたため、速報値からの上方修正を見込んでいた。しかし、交通、貯蔵、通信部門が低迷したためサービス部門の生産は下方修正された。原油や機械、輸送設備の輸入が増加したことが、成長率の伸びを0.9%ポイント圧迫した。個人消費は+0.5%となり、2014年末時点から伸びはわずかに鈍化した。

⑤イタリアの国債入札では、10年物国債を含む3種類の国債の入札が実施された。全体の調達額は総額で69億3400万ユーロ（約75億8000万ドル）となり、予定レンジ（50億-70億ユーロ）の上限付近だった。10年債の平均利回りは1.83%（前回1.40%）、応札倍率は1.44倍（1.59倍）となり、10年債の利回りは昨年12月以来の高水準に上昇した。ギリシャへの金融支援協議の進展状況について、関係各国の認識が異なっていることで、警戒感が強まった。

⑥オーストリア中銀は、現在280トンの金準備のうち80%を英国で、17%をオーストリア国内、3%をスイスで保管しているが、2020年までに英国での保有を30%に減らし、国内を50%、スイスは20%に引き上げる方針を示した。ノボトニー総裁は、国内の金保有を増やすのは独連銀など主要中銀の動きに沿ったものと説明し、オーストリア中央銀行が保有する金の一部を英国から移す方針を明らかにしたことについて、ノボトニー総裁は英国のEU離脱をにらんだ計画ではないと説明した。

⑦ギリシャ政府報道官は、債権団との支援協議について、31日までの合意を目指す姿勢を示した。また合意は近いとして自信を示した。ギリシャ政府は、27日に債権団と合意書策定に着手したと表明した。一方で、欧州の当局者らは「希望的観測」だとして否定している。

⑧EUの執行機関である欧州委員会の報道官は、ギリシャ債務をめぐる協議は一段の進展が必要との認識を示した。報道官は定例記者会見で、27日夜に再開されたギリシャと債権団の協議は数日続くとの見通しを示した。その上で「協議は一段の進展が必要だ。まだそこまで達していない。未解決の問題が残っている」と述べた。

1 : 25

米財務省（ルー米財務長官と麻生財務相が会談）

- ・「米財務長官は、麻生財務相に為替の約束順守の重要性を指摘」
- ・「米財務長官は、TPPの重要性を麻生財務相と協議」
- ・「米財務長官は、麻生財務相に競争力目的の為替レート利用を牽制」

1 : 55

◀ 要人発言 ▶

麻生財務相

- ・「今日のG7会合で為替に関し議論せず」
- ・「足元の円安、この数日間荒い動き」
- ・「市場の動き注意深く監視していきたい」
- ・「ルー米財務長官との会談で為替についてG7・G20の声明でのコミットメントを再確認した」



2 : 00

◀ 米財務省 7年債入札 ▶

最高落札利回り・・・1.888%（前回 1.820%）
 最低落札利回り・・・1.790%（前回 1.725%）
 最高利回り落札比率・・・26.74%（前回 91.10%）
 応札倍率・・・2.49倍（前回 2.44倍）

3 : 40

NY金は、中心限月が前日比2.50ドル安の1オンス=1188.10ドルで取引を終了した。

3 : 45

◀ 要人発言 ▶

コチャラコタ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「今年は金融引き締めを開始するべきではない」
- ・「当局は金利について異例の辛抱強さ必要」

4 : 10

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「第1四半期 GDP、マイナスへの下方修正もあり得る」
- ・「成長の回復度合いは昨年ほど大きくないだろう」
- ・「FOMC の基本シナリオは年内の利上げ」
- ・「前年比のインフレ率は上昇すると予想」
- ・「失業率は数カ月以内に4%台に」
- ・「適切な金利設定はゼロではない」

4 : 15

NY 原油は、中心限月が前日比 0.17 ドル高の 1 バレル=57.68 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1188.10	-2.50
NY 原油	57.68	+0.17

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

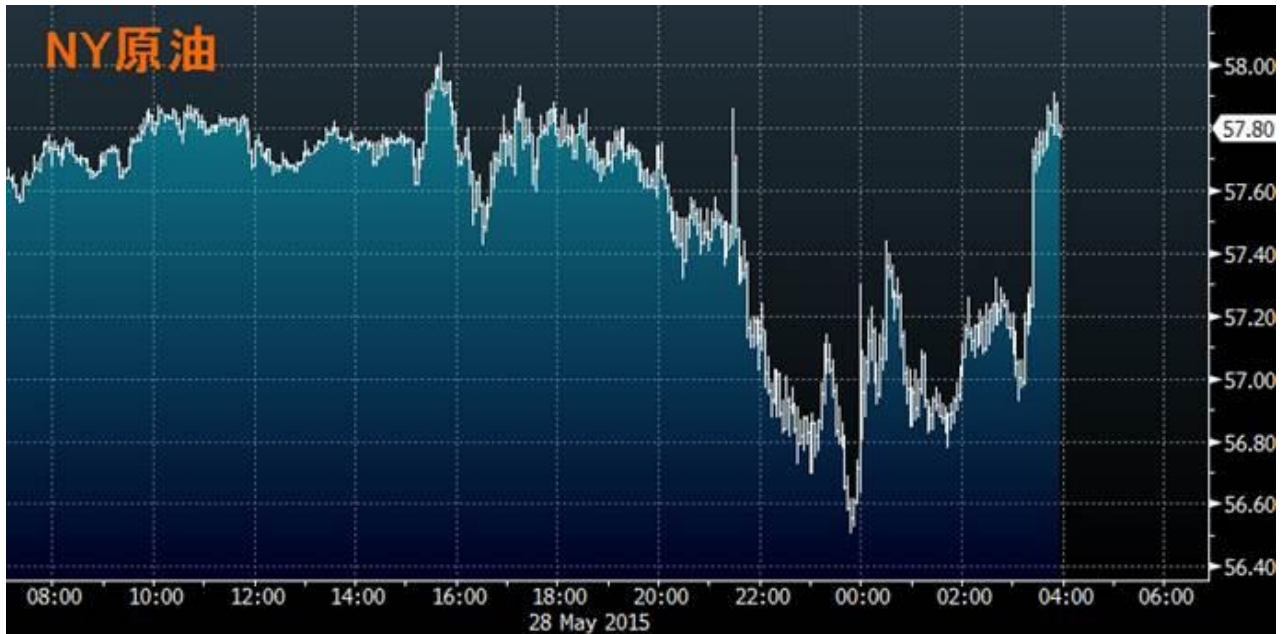
NY 金は、米失業保険申請件数が市場予想より悪い内容で、比較的安全な資産とされる金の逃避買いを促した。一方、ドルが円などに対して上昇していることからドルの代替資産としての需要が後退し、相場の上値を抑えた。



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に減少したことから、供給過剰懸念が弱まっているとの見方から買いが入る一方、生産の増加を嫌気した売りも出て、もみ合いの展開が続いた。



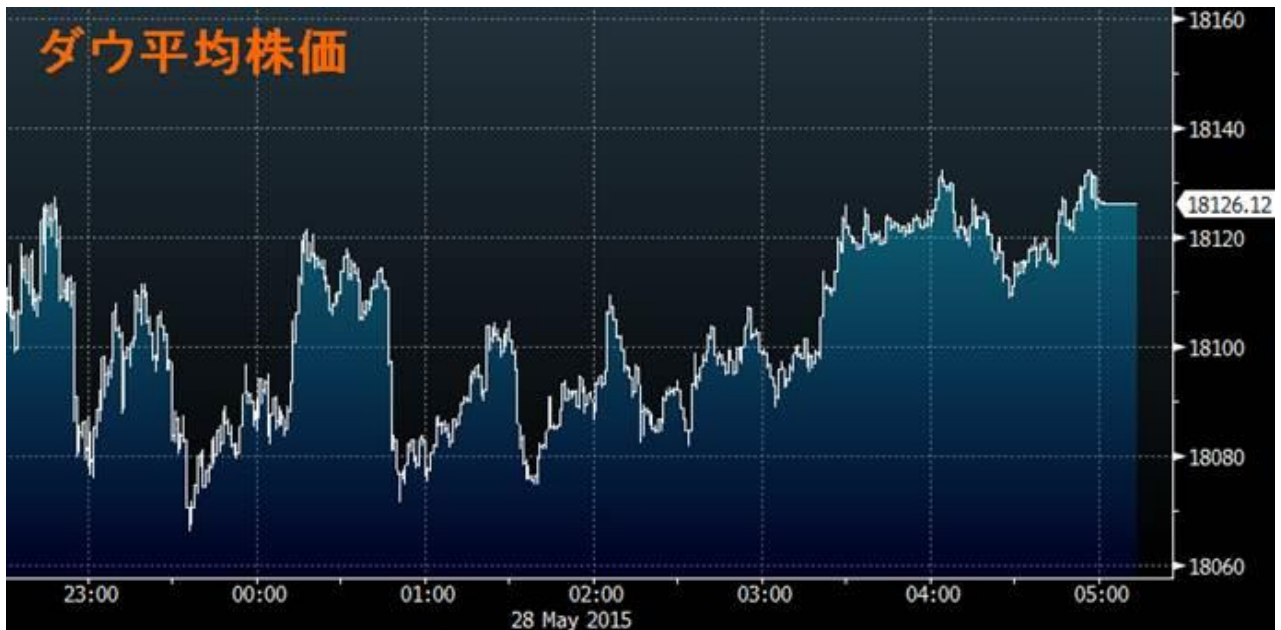
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18126.12	-36.87	18154.14	18066.40
S&P500 種	2120.79	-2.69	2122.27	2112.86
ナスダック	5097.98	-8.62	5106.65	5080.25

(出所：SBILM)

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より悪化したことで、米景気の先行きに対する懸念を背景とした売りが先行し、終盤まで軟調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 96 ドル安まで下げる動きとなった。その後は、小動きながら、下げ幅を縮小する動きとなった。



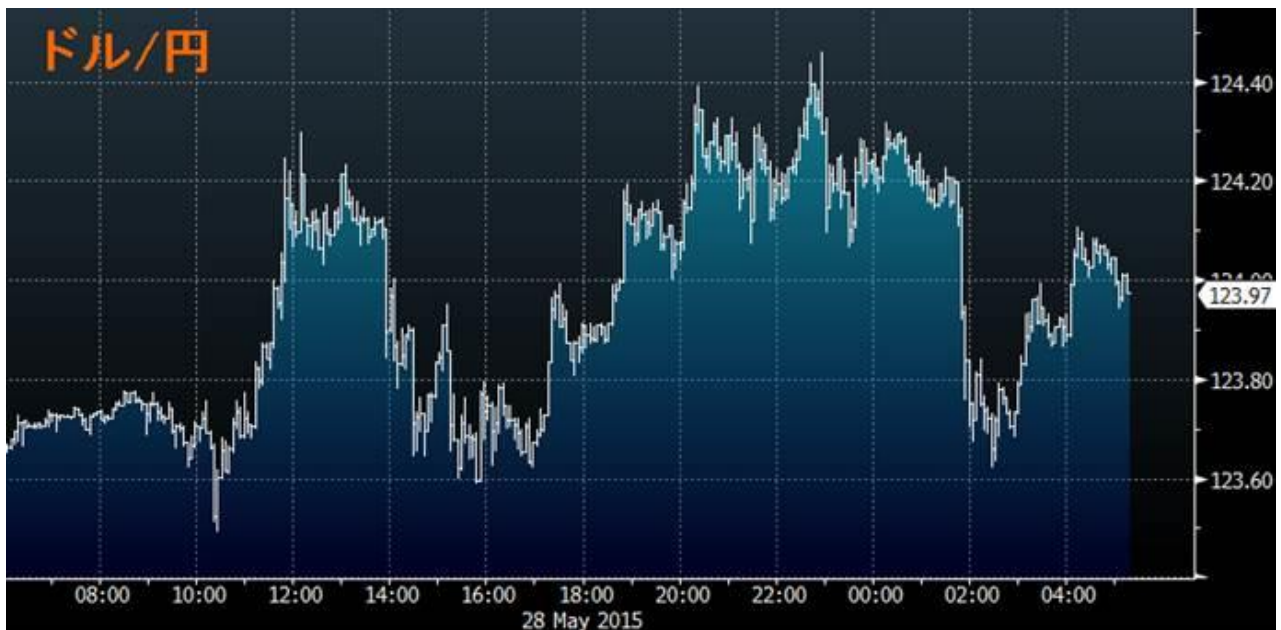
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	123.99	124.46	123.63
EUR/JPY	135.73	135.78	135.15
GBP/JPY	189.81	190.14	189.29
AUD/JPY	94.84	95.02	94.58
NZD/JPY	89.01	89.07	88.64
EUR/USD	1.0948	1.0959	1.0868
AUD/USD	0.7649	0.7657	0.7617

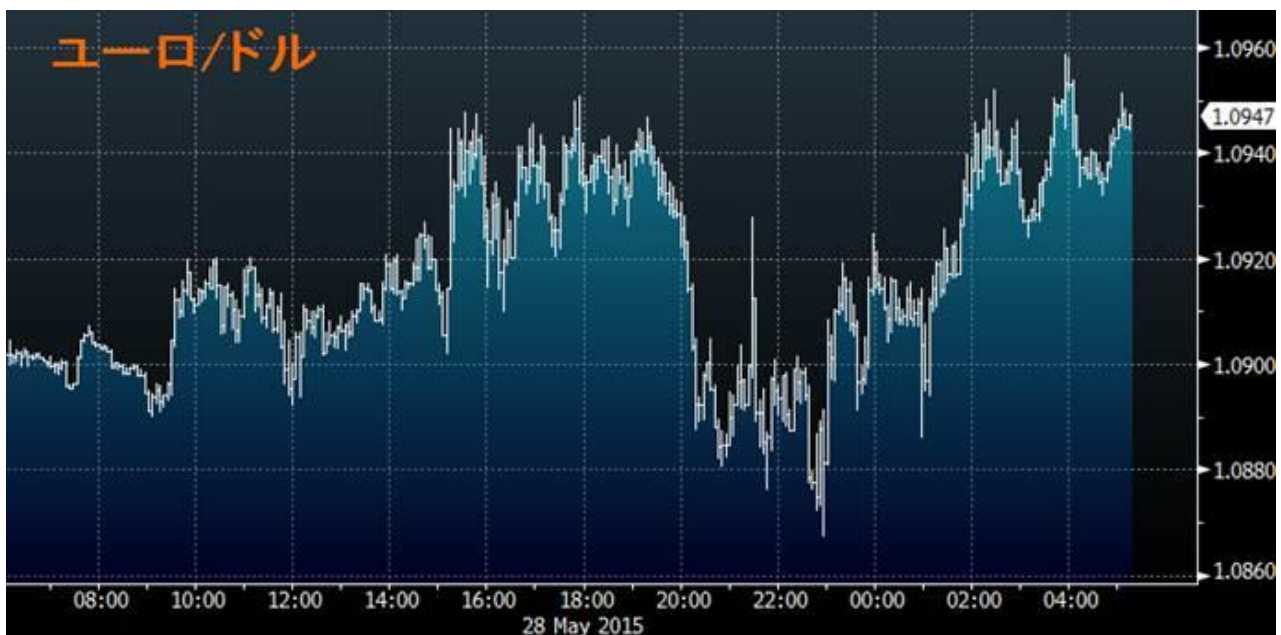
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が悪化したものの、引き続き米国の利上げ期待が根強く、ドルは底固い展開が続いた。その後、麻生財務相の発言を受けて下げる場面もあったが、終盤には再び 124 円台まで値を戻す動きとなった。ただ、欧米の株価が軟調な動きとなったことから、豪ドル/円などはやや軟調な動きが続いた。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。